

兵庫県のり漁場環境情報 (神戸市、東浦海域 2号)

神戸市沿岸の東部域を中心に、大型珪藻コシノディスカス及び数種の連鎖状の肉眼視される珪藻が多く発生しています。それ以外の海域においてこれら珪藻は少なく、窒素は全域で7~10  $\mu\text{g at/L}$ の値となっています。珪藻が多く発生している海域においても栄養塩(窒素・リン)は十分量あり、すぐに問題となる状況にはありませんがその動向は注視されます。

(水温) 神戸地先は塩屋以東で14.3~14.6℃、滝の茶屋以西で14.9~15.2℃で平均14.6℃。神戸沖は平均15.2℃、東浦地先は平均15.3℃。いずれの海域においても平年と比較し約1.0℃高い。

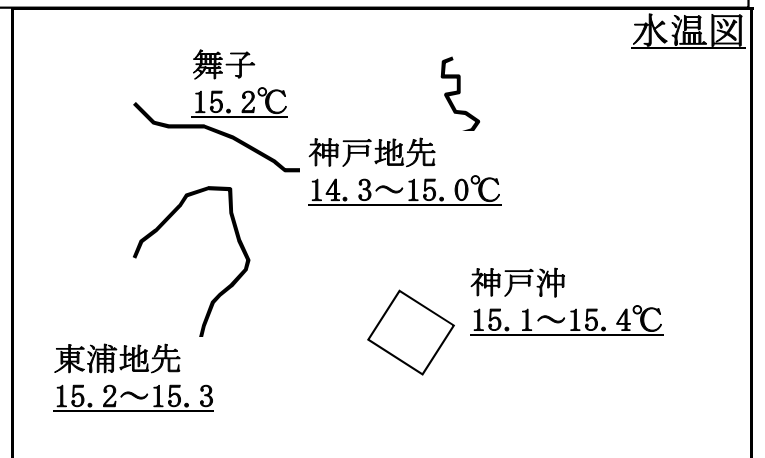
(塩分) 神戸地先：塩屋以東で31.60~31.84psu、滝の茶屋以西で32.05~32.16psu。神戸沖：32.09~32.29psu。東浦地先：32.18~32.24psu。

(栄養塩、珪藻) 窒素は神戸地先で8~10  $\mu\text{g at/L}$ 台、神戸沖及び淡路東浦で概ね7  $\mu\text{g at/L}$ 台と十分量で推移している。神戸市沿岸東部を中心にコシノディスカス(C.wallesii)及び連鎖状で肉眼視される珪藻が多く発生している。コシノディスカスは海水1Lあたりそれぞれ、須磨駅以東で200細胞、塩屋周辺で100細胞前後、垂水以西では10細胞前後であった。連鎖状の珪藻も同様に西部へ進むほど発生量は少ない状況。他、キートセロスやタラシオンラといった小型珪藻は少なく、神戸市沿岸域以外の海域ではこれら珪藻は少し確認される程度であった。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
神戸地先	水温	19.4	14.6	13.6	13.6
	窒素	8.6	9.1	12.0	7.3
	リン	0.60	0.51	0.69	0.63
神戸沖	水温	19.8	15.2	14.1	14.0
	窒素	7.3	7.2	7.3	6.5
	リン	0.58	0.60	0.64	0.61
東浦地先	水温	19.5	15.3	14.3	13.7
	窒素	7.2	7.5	6.5	6.0
	リン	0.56	0.58	0.61	0.59

(11/19)

(12/20)



栄養塩(窒素) 図

平成30年12月25日調査

上げ潮 (明石海峡：西流)

調査時間； 8:11~10:13

